

事業報告附属明細書（事業別報告）

法人運営事業

法人運営事業（61,157,539円）

（1）主な収支状況

市補助金（運営補助金）	53,983,000円（収）
会費（団体会員54件、個人会員1,097件、賛助会員23件）	514,100円（収）
ホームヘルプサービス事業から繰入	7,950,000円（収）
共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	1,036,490円（収）
共同募金運動啓発特別助成金	300,000円（収）
一般職員、嘱託職員等人件費	58,260,208円（支）
事務所使用料	478,447円（支）
（別に、他の事業から支出。事務所使用料の総金額は3,189,650円）	
社協だより「いきいき」発行費	119,927円（支）
（別に、他の事業から支出。社協だより発行費の総金額は1,439,128円）	
勤怠管理システム導入費	330,000円（支）
その他法人運営にかかる事務費等	1,968,606円（支）
法人運営事業積立資産への積立	351円（支）

（2）職員構成（令和6年3月31日現在）

▽部署別

部署名	人数
常務理事	1
事務局長	1
センター長	1
事務局次長	1
センター次長	3
総務係	2
地域福祉係	3
生活支援係（ヘルパー、生活支援員を含む）	44
地域包括支援センター	14
合計	70

▽区分別

区分名	人数
市派遣職員	3
一般職員	12
嘱託職員	12
臨時職員	2
非常勤職員	41
合計	70

(3) 会員加入状況

区分	加入数	会費（年額）
個人会員	1,097名	300円
団体会員	54団体	3,000円
賛助会員	23件	1口 1,000円

(4) 固定資産物品取得状況

固定資産物品	台数
複合機（フルカラー複合機）	1
合計	1

(5) 物品貸出状況

貸出物品	貸出数量
車いす	288
盲人用安全杖	10
プロジェクター一式	6
合計	304

(6) 情報公開・個人情報保護の状況

▽情報公開請求件数 0件

▽保有個人データの開示請求件数 0件

(7) 苦情受付状況

▽苦情受付件数 0件

(8) 監査・調査状況

監査・調査名	実施日	実施者
地域包括支援センター事業評価	5月9日	橿原市福祉部長寿介護課
令和4年度財政援助団体等監査	9月6日（予備監査）、 9月25日（本監査）	橿原市監査委員

(9) 研修生・実習生等受入状況

学校名等	人数	日程	目的（研修名）
奈良県医師会看護専門学校	5	6月22日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について
	5	7月13日	
	5	9月26日	
奈良学園大学保健医療学部看護学科	3	8月29日	社会福祉協議会及び地域包括支援センターの事業について
韓国釜山経商大学校	15	7月5日	社会福祉協議会の概要説明

(10) 後援等の状況

▽後援

催名	主催	日程
令和5年度夏の寺子屋「ナビコンパス杯ボッチャ&輪投げゲームでハッスルサマー」	橿原市	令和5年8月19日
アンクルン音楽クラブ conbrio コンサート つなげよう 音もこころも	アンクルン音楽クラブ conbrio	令和5年12月2日
令和5年度第44回奈良県保育研究大会	奈良県保育協議会	令和5年12月9日

認知症当事者の声から社会参加を考える ～丹野智文さんの講演から～	橿原市地域包括ケアシス テム連絡会	令和5年12月13日
令和5年度奈良県児童福祉施設連盟第2 6回音楽交流会 “アート・コミュニケ ーション” 2024	奈良県児童福祉施設連盟	令和6年2月10日
おしゃべりサロン「えがお」	傾聴ボランティアえがお	令和6年4月15日、5 月15日、6月15日、 7月15日、8月15 日、9月15日、10月 15日、11月15日、 12月15日、令和7年 1月15日、2月15 日、3月15日

(11) 令和6年能登半島地震の復興支援活動

▽職員派遣状況

派遣先	派遣職員	派遣期間	内容
羽咋市災害ボランティアセンター	吉村豊彦	3月4日～3月10日	センターの運営支援

▽義援金活動状況

内容	金額
令和6年能登半島地震災害義援金の受付（1月5日～3月31日）	30,068円

(12) その他

▽社協だより「いきいき」の発行

第69号（令和5年7月）、第70号（令和5年10月）、第71号（令和6年1月）、第72号（令和6年4月）を発行（「広報かしはら」に折込）する。

▽ホームページによる情報発信

社協ホームページ <https://kashi-syakyou.or.jp/>

▽一般職員採用試験の実施

令和5年10月1日又は令和6年4月1日採用に向けて保健師2名を募集する。（採用者1名）

第1次試験日 6月18日

第2次試験日 8月10日

令和6年4月1日採用に向けて保健師1名を再募集、介護福祉士1名を募集する。（採用者1名（保健師））

第1次試験日 11月15日～12月10日

第2次試験日 1月22日

令和6年7月1日採用に向けて介護福祉士1名を再募集する。

第1次試験日 3月23日～4月3日

第2次試験日 未定

▽奈良県いっせい地震行動訓練に参加（7月10日）

▽消防訓練の実施

消防訓練（消火訓練）の実施（8月29日）

消防訓練（避難訓練）の実施（2月13日）

▽健康診断の実施

ストレスチェック（９月２０日～９月２９日）２４名受検

VDT健康診断（１１月２日、１１月１６日）５名受診

定期健康診断（１月１０日）５２名受診

▽感謝状の贈呈

社会福祉の増進に尽力し、その功績が顕著な社協会員等に感謝状を贈呈する。

感謝状贈呈日 １１月３日

感謝状被贈呈者 ２８名、１団体

▽業務継続計画（BCP）の策定

自然災害発生時における業務継続計画【指定訪問介護事業所・指定第一号訪問事業所・指定居宅介護事業所】（１１月）

自然災害発生時における業務継続計画【指定介護予防支援事業所】（１１月）

新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画【指定訪問介護事業所・指定第一号訪問事業所・指定居宅介護事業所】（１１月）

新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画【指定介護予防支援事業所】（１１月）

▽橿原市地域包括支援センター運営委託業務（南圏域）の指名型プロポーザルに参加（１２月５日）
受注候補者として社協が特定される。

役員会等事業（１１４，６５３円）

（１）主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入 １１４，６５３円（収）
理事会・評議員会等の開催にかかる事務費 １１４，６５３円（支）

（２）理事会・評議員会・運営委員会開催状況

区分	回数	議案件数	延出席者数
社会福祉協議会理事会（決議の省略を含む）	７	２３	９３ （監事含む）
社会福祉協議会評議員会（決議の省略を含む）	３	６	３９ （理事・監事含む）
橿原市共同募金委員会運営委員会（決議の省略を含む）	４	４	５１ （監事含む）

（３）委員会等開催状況

区分	回数	延出席者数
社会福祉協議会監査	１	３
評議員選任・解任委員会（決議の省略を含む）	２	８
感謝状贈呈審査委員会	１	４
職員採用試験委員会	５	１９
職員衛生委員会	２	１７
感染対策委員会	２	１５
橿原市共同募金委員会監査	１	３
橿原市共同募金委員会審査委員会	２	１８

※監査については、出席理事数を含む。

(4) 役員等研修状況

▽理事・監事・評議員合同研修会

開催日	内容	参加者数
10月10日	講演 (第1部)「個人情報保護制度について」 (第2部)「神武東遷の故地を具 <small>つぶさ</small> にめぐって」 講師 榎原市情報公開室 副統括・飛鳥まほろば考社 代表 山崎貴浩 <small>やまざきたかひろ</small> 氏	20

地域福祉活動支援事業

地域福祉活動支援事業(4,870,632円)

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業(地域助成金)から繰入	2,698,846円(収)
共同募金配分金事業(地域歳末たすけあい助成金)から繰入	1,811,003円(収)
善意銀行運営事業から繰入	387,473円(収)
地域福祉基金運営事業から繰入	22,819円(収)
小学校区地域福祉推進委員会への助成金	4,009,849円(支)
第5期地域福祉推進計画策定負担金	500,000円(支)
広報・啓発費用	119,927円(支)
その他地域福祉推進のための事務費	240,856円(支)

(2) 第5期地域福祉推進計画(計画期間:令和6年度~令和10年度)の策定

▽榎原市地域福祉推進計画策定委員会の開催

開催日	内容	参加者数
8月2日	・委員長・副委員長の選任について ・榎原市第5期地域福祉推進計画の策定について ・計画策定スケジュールについて ・計画策定にかかるアンケート調査の実施について ・計画策定にかかるヒアリング調査の実施について	14
11月21日	・市民アンケート調査結果について ・地域福祉推進委員会ヒアリング調査結果について ・榎原市第5期地域福祉推進計画(素案)について ・パブリックコメントの実施について	13
12月27日	・榎原市第5期地域福祉推進計画(案)について	14
2月15日	・パブリックコメントの実施結果について ・榎原市第5期地域福祉推進計画(案)について	11

▽榎原市地域福祉推進計画庁内検討委員会に参加(2回)

▽アンケート調査・ヒアリング調査等

市民アンケート(回収率39.6%)

対象 満16歳以上の市民2,000人を無作為抽出

期間 8月24日~9月11日

16小学校区地域福祉推進委員会ヒアリング

期間 8月27日、9月2日、9月7日~9月12日

パブリックコメント

期間 1月4日~2月2日

(3) 各小学校区地域福祉推進委員会活動の支援

▽各小学校区において地域福祉活動の中心となり、その充実が檀原市における地域福祉の発展につながることから、同委員会の運営及び活動に対して助成し、支援する。また、地域の交流を促進するとともに、その参加者から次世代の担い手の育成を図る。

▽地域福祉推進委員会と自治会、民生委員・児童委員、地域住民等との連携を進めながら、日々の生活の中で異変に気付いた場合に、関係団体や専門機関に相談・連絡するといった“緩やかな見守り”を推進する。

(4) 市地域福祉推進連絡協議会との連携

▽市内16小学校区の地域福祉推進委員会等で組織する市地域福祉推進連絡協議会との連携により、校区間の情報の共有を図り、地域福祉ネットワークを構築する。

檀原市地域福祉推進連絡協議会実施状況

開催日	内 容	参加者数
7月27日	議題 (1) 檀原市地域福祉推進連絡協議会規約の一部改正について (2) 役員の選任について (3) 令和4年度事業報告及び収支決算について (4) 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (5) 檀原市第5期地域福祉推進計画の策定について	20
11月17日	議題 (1) 市民アンケート調査結果報告について (2) 地域福祉推進委員会ヒアリング調査結果について (3) 第5期地域福祉推進計画素案について (4) パブリックコメントの実施について	20
2月13日	議題 (1) パブリックコメントの結果について (2) 第5期地域福祉推進計画(案)について 情報交換会 16小学校区地域福祉推進委員会の取組について	18

(5) コミュニティ自動車の貸与

▽地域福祉推進委員会が実施する活動や取組等への利用者の送迎のため、社協の車両をコミュニティ自動車として貸与する。

利用状況

車 種	貸与団体数	貸与日数	延利用者数
キャラバン(10人乗り)	3	69	1,137

(6) 出前講座実施状況

▽地域福祉の周知啓発を図るため、出前講座を開催する。

開催日	テーマ	対象者	参加者数
4月27日	赤い羽根共同募金について	畝傍地区民生児童委員協議会	32
7月8日	つながり・支え合う地域づくり	城殿町長寿会	18
12月1日	つながり・支え合う地域づくり	香久山地区ふれあいサロン	15
1月18日	つながり・支え合う地域づくり	ふれあいサロン耳成	17

見守り活動支援事業

見守り活動支援事業(1,775,761円)

▽見守り活動支援事業

住み慣れた地域や家庭で安心して生活できるよう、一人暮らし高齢者等の見守りや安否確認等を

目的とした地域の見守り活動を支援する。

実施団体数 7団体 利用者数 1,831名 延利用者数 23,004名

▽ふれあい電話訪問サービス事業

高齢者に対し、ふれあい（話し相手や見守り等）のため、ボランティアによる電話訪問を行う。

実施日 火曜日（午前10時～午後3時）、金曜日（午前10時～正午）※第5週目を除く

登録ボランティア数 18名 協力ボランティア数 延418名

利用者数 43名 電話訪問件数 延1,606件

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域歳末たすけあい助成金）から繰入	1,767,761円（収）
善意銀行運営事業から繰入	8,000円（収）
見守り活動にかかる事業費	1,767,761円（支）
ふれあい電話訪問サービスにかかる事業費	8,000円（支）

ふれあいサロン事業

ふれあいサロン事業（4,254,071円）

▽住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、65歳以上の人を対象に、地区公民館等で体操や手芸などをメニューに住民主体のサロン活動を支援し、閉じこもりや心身機能の低下、要介護状態等への進行を予防する。

(1) 主な収支状況

市受託金	4,254,071円（収）
ふれあいサロン活動のための助成金	3,747,076円（支）
広報・啓発費用	239,855円（支）
その他事務費	267,140円（支）

(2) ふれあいサロン実施状況（於：各地区公民館等）

地区名	名称	回数	延利用者数	開催日時
真 菅	ますげいなほ会	26	628	第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時30分
今 井	今井校区ふれあいサロン	23	444	第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時30分
新 沢	新沢地区ふれあいサロン	23	386	第2・第4火曜日 午後1時～午後3時
香久山	香久山地区ふれあいサロン	34	674	第1・第3・第4土曜日 午後1時～午後3時
晩 成	晩成ふれあいサロン	37	1,046	木曜日（第5木曜日を除く） 午後1時30分～午後3時30分
畝傍南	畝傍南ふれあいサロン	21	758	第2・第4水曜日 午後1時30分～午後4時
畝傍北	畝傍北ふれあいサロン	24	1,031	第1・第3木曜日 午後1時30分～午後4時
白 櫃	サロンしらかし広場	41	1,487	火曜日（第5火曜日を除く） 午後1時～午後3時

耳 成	ふれあいサロン耳成	1 3	3 9 0	月 1 回開催 開催ごとに異なる
耳成南	耳成南ふれあいサロン ～イトヤキ会～	1 9	6 7 0	第 2・第 4 土曜日 午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
真菅北	真菅北ひまわりサロン	2 3	5 4 4	第 2・第 4 火曜日 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
鴨 公	鴨公まほろばふれあい サロン	1 2	4 0 4	第 4 金曜日 午前 10 時～正午
合 計		2 9 6	8, 4 6 2	

(3) ふれあいサロンネットワーク会議実施状況

開催日	内 容	参加者数
6 月 5 日	令和 5 年度ふれあいサロン事業について 情報交換会 ふれあいサロンの運営について	2 4
2 月 1 9 日	令和 6 年度ふれあいサロン事業について 軽スポーツで交流しよう！モルック体験会	2 5

ボランティア推進事業

ボランティア推進事業（1, 5 6 9, 6 8 5 円）

(1) 主な収支状況

共同募金配分金事業（地域助成金）から繰入	2 4 1, 0 5 0 円（収）
善意銀行運営事業から繰入	1 0, 0 0 0 円（収）
ボランティア活動保険加入	9 9 9, 3 5 0 円（収）
ボランティア活動保険掛金	9 9 9, 3 5 0 円（支）
南都・松下等基金積立金ボランティア活動助成金	2 2 6, 4 0 0 円（支）
広報・啓発費用	5 9, 9 6 4 円（支）
その他事務費・事業費	2 8 3, 9 7 1 円（支）

(2) 災害ボランティアセンターの取組状況

▽「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に基づき、災害発生時にセンターの円滑な設置ができるよう、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施する。

災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施状況

開催日	内 容	参加者数
1 0 月 2 9 日	【研修会】 ①内容 風水害への備え 講師 檀原市総務部危機管理課 担当職員 ②内容 災害ボランティアセンターの役割・機能について 講師 檀原市社会福祉協議会 地域福祉係職員 ③内容 災害ボランティアの実践活動について 講師 檀原青年会議所 担当者 【訓練】 内容 大型台風による豪雨災害を想定した訓練	5 1

(3) 福祉教育の推進

▽小・中学校に対する出前講座の実施や、児童・生徒によるボランティア活動の実践を通じて福祉教育を推進することにより、社会福祉への理解と関心を深め、思いやりとやさしさを養う。

(4) 保険取扱状況

加入状況

保険種別	件数	加入者数	金額 (円)
ボランティア活動保険	184	2,645	999,350
ボランティア行事用保険	183	7,360	209,020
福祉サービス総合補償	3	延634	26,784
送迎サービス補償	—	—	—
社協の保険	1	29	332,262
ふれあいサロン・社協行事傷害補償	6	延6,744	182,088
合計	377		1,749,504

事故発生状況

保険種別	件数	事故内容
ボランティア活動保険	5	けが5件
ボランティア行事用保険	1	けが1件
合計	6	

共同募金配分金事業

共同募金配分金事業 (10,202,527円)

▽歳末施設訪問

地域歳末たすけあい助成金、善意銀行への指定寄付及び障がい者等支援基金積立資産の一部を財源に、市内高齢者施設及び障がい者施設に歳末見舞金として配分する。また、配分先の施設の利用者に対し、年末のご挨拶としてメッセージ動画を送付する。

歳末見舞金

	施設名	配分額 (円)
高齢者施設	榎原園	70,000
	かなはし苑	70,000
	桃寿園	70,000
	香久山インパレス	70,000
	榎原の郷	70,000
	ぼれぼれケアセンター白檀	35,000
	バンデ (絆)	70,000
	花檀	35,000
	リンク榎原	35,000
	ケアステージみみなし	35,000
	万葉テラス	35,000
	大和三山	35,000
	鷺栖の里	35,000
障がい者施設	あさひの	50,000
	たけのこ園	50,000
	友の室	50,000
	ステップあすか	50,000
	生活支援センターはるかぜ	50,000
	スクラム	50,000
合計		965,000

※地域歳末たすけあい助成金508,000円、善意銀行への指定寄付172,000円、障がい者等支援基金積立資産285,000円を活用

(1) 主な収支状況

地域助成金	5,743,517円 (収)
地域歳末たすけあい助成金	4,086,764円 (収)
地域助成金の配分 (自治会、民協等)	2,024,724円 (支)
歳末見舞金として配分	508,000円 (支)
各事業に地域助成金の繰出	4,091,039円 (支)
各事業に地域歳末たすけあい助成金の繰出	3,578,764円 (支)

生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業 (5,136,000円)

▽生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や高齢者世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支え、在宅福祉の充実や社会参加の促進を図ることを目的に、生活福祉資金の相談や貸付を行う。

(1) 主な収支状況

県社協受託金	5,136,000円 (収)
内訳 生活福祉資金貸付等事務受託金	4,497,000円
臨時特例つなぎ資金貸付等事務受託金	20,000円
生活福祉資金貸付等事務受託金 (特例貸付分)	619,000円
人件費	3,999,133円 (支)
民生委員への生活福祉資金活動費用弁償	315,000円 (支)
事務所使用料	239,224円 (支)
非常通報装置の設置	62,040円 (支)
その他事務費	520,603円 (支)

(2) 生活福祉資金相談状況

相談件数 194件

内訳 総合支援資金6件 (生活支援費5件、住宅入居費0件、一時生活再建費1件)、
教育支援資金29件、福祉資金27件、不動産担保型生活資金3件、
緊急小口資金50件、臨時特例つなぎ資金0件、その他79件

(3) 生活福祉資金貸付状況

資金種別	件数	貸付金額 (円)
1. 生活支援費	1	240,000
2. 住宅入居費	—	—
3. 一時生活再建費	—	—
4. 教育支援資金	11	5,863,000
5. 福祉資金	3	1,235,000
6. 不動産担保型生活資金	—	—
7. 緊急小口資金	22	1,700,000
8. 臨時特例つなぎ資金	—	—
合計	37	9,038,000

▽奈良県フードレスキュー事業

生活に窮迫した相談者に対して、寄り添い、安心・安定した生活に向けた相談支援につなげていけるよう、一時的に食料品の提供を行う。

利用者数 4名

支援食品数 57個（レトルトご飯、レトルトカレー、缶詰、レトルト肉じゃが、乾パン）

善意銀行運営事業

善意銀行運営事業（577,473円）

（1）主な収支状況

寄付金 1,571,460円（収）
 歳末見舞金の一部として払出し 172,000円（支）
 前年度の寄付金を目的に沿って各事業に繰出 405,473円（支）

（2）善意銀行運営状況

区分	事項	件数	金額（円）
収入の部	1. 一般寄付	47	815,406
	2. 指定寄付	28	756,054
	(1) 地域福祉のために	13	7,000
	(2) 高齢者のために	1	150,000
	(3) 障がい者のために	14	599,054
	3. 受取利息		8
	4. 前年度からの繰越金		577,473
	合計（A）		2,148,941
支出の部	1. 歳末見舞金の一部として払出		172,000
	2. 各事業に払出		405,473
	(1) 地域福祉活動支援事業		387,473
	(2) 見守り活動支援事業		8,000
	(3) ボランティア推進事業		10,000
	合計（B）		577,473
	差引合計（A）－（B）		1,571,468

※差引合計1,571,468円については、令和6年度へ繰越

地域福祉基金運営事業

地域福祉基金運営事業（22,819円）

（1）主な収支状況

地域福祉基金積立資産の運用利息 22,819円（収）
 地域福祉活動支援事業に繰出 22,819円（支）

（2）地域福祉基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	93,623,652	0	0	93,623,652
合計	93,623,652	0	0	93,623,652

障がい者等支援基金運営事業

障がい者等支援基金運営事業（５３２，０００円）

（１）主な収支状況

障がい者等支援基金積立資産の取崩	５５０，０００円（収）
障がい者等地域活動団体への助成金	２４７，０００円（支）
歳末見舞金の一部として助成	２８５，０００円（支）

（２）障がい者等支援基金積立資産運営状況

（単位：円）

積立資産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	２８，７４０，０００	０	５５０，０００	２８，１９０，０００
合計	２８，７４０，０００	０	５５０，０００	２８，１９０，０００

（３）障がい者等地域活動団体の支援

▽障がい者等地域活動団体の事業活動やその運営に対して助成し、支援する。

団体名	助成事業の内容	助成金額（円）
アングルン音楽クラブ con brio	障害児・者の音楽余暇活動	８８，０００
スノーキャンパス	発達凸凹子育てを遊びで応援	１００，０００
高齢聴覚障がい者の集い「すみれの会」	高齢聴覚障がい者の交流・ふれ合い	５９，０００

法人後見事業

法人後見事業（２４９，３５０円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な人に対し、社協が成年後見人等となり、成年被後見人等の財産管理や身上保護を行い、その権利を擁護する。

（１）主な収支状況

成年後見人等報酬費用助成金	１９６，２５８円（収）
成年後見人等報酬	６７，７４２円（収）
広報・啓発費用	１１９，９２７円（支）
権利擁護・成年後見システム利用料	９１，９６０円（支）
その他事務費・事業費	３７，４６３円（支）

（２）実施状況

受任件数	２件（後見２件、保佐０件、補助０件）（令和６年３月３１日現在）
受任状況	新規件数 １件（後見１件、保佐０件、補助０件）
	終了件数 ０件（後見０件、保佐０件、補助０件）

相談状況

内 容	件数
成年後見制度について	３
申立て等について	０
合 計	３

(3) 成年後見講座実施状況

▽地域住民等への啓発の場として、成年後見制度に関する理解を深めてもらうため、講座を開催する。

開催日	内 容	参加者数
8月22日	内容 いま、成年後見制度が求められている理由 講師 原田司法書士事務所 代表 原田敏徳 ^{ほらだとしのり} 氏	17

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業（1,572,900円）

▽認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な人の権利を擁護するとともに、福祉サービスの利用援助や日常生活の相談、金銭管理などの援助を行うことで、地域で安心して生活ができるよう支援する。

(1) 主な収支状況

県社協受託金	1,209,000円〈収〉
利用者負担金	363,900円〈収〉
嘱託職員、生活支援員人件費	943,268円〈支〉
広報・啓発費用	119,927円〈支〉
権利擁護・成年後見システム利用料	183,920円〈支〉
その他事務費・事業費	325,785円〈支〉

(2) 実施状況

契約者数	30名（令和6年3月31日現在）
契約状況	新規件数 1件 終了件数 7件
支援時間数	468時間
相談援助件数（利用者に関する相談）	389件

相談状況

内 容	件数
制度・事業について	5
初回相談	7
合 計	12

訪問介護事業

訪問介護事業（25,137,910円）

▽要介護者へのホームヘルプサービス

要介護状態にある高齢者等（利用者）が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

▽要支援者へのホームヘルプサービス

要支援状態にある高齢者等（利用者）が可能な限りその居宅において、要支援状態の維持・改善と、

要介護状態への予防をし、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	16,698,160円 (収)
総合事業収入	6,554,266円 (収)
利用者負担金 (要介護)	1,962,959円 (収)
利用者負担金 (要支援)	798,320円 (収)
一般職員、ヘルパー人件費	18,551,276円 (支)
事務所使用料	398,706円 (支)
広報・啓発費用	59,964円 (支)
訪問介護システム利用料	92,400円 (支)
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	2,035,564円 (支)
地域福祉推進事業 (法人運営事業) に繰出	4,000,000円 (支)

(2) サービス提供 (訪問介護) 状況

	活動者数	利用者数	生活援助 (時間)	身体生活 (時間)	身体介護 (時間)
4月	23	31	177	250	114
5月	22	29	179.5	254.5	121
6月	23	30	158	202	116.5
7月	22	29	157	166.5	115
8月	22	29	162.5	164.5	117.5
9月	23	30	165	170	140
10月	23	30	185	177	127.5
11月	23	29	191	185	113
12月	23	32	182	170	103
1月	23	32	177	180	95.5
2月	24	33	169	181.5	103
3月	24	33	173	181	105
合計	275	367	2,076	2,282	1,371

(3) サービス提供 (第一号訪問) 状況

	活動者数	利用者数	活動時間 (時間)
4月	23	43	186.5
5月	23	44	208.5
6月	24	44	210
7月	23	41	196.5
8月	22	42	214.5
9月	23	42	203.5
10月	22	42	221
11月	22	41	202
12月	22	41	193.5
1月	20	40	179
2月	23	39	188
3月	22	39	194
合計	269	498	2,397

(4) ヘルパー定例会（研修）実施状況

▽サービスの質の向上と社協職員としての資質の向上を目的に実施する。

開催日	内 容	参加者数
4月20日	食中毒予防について	18
6月23日	虐待防止について	11
9月21日	介護技術向上研修	10
10月24日	感染症に対する研修及び訓練	10
12月21日	介護技術向上研修	11
3月21日	雇用更新、ヒヤリハット報告について	15

障害福祉サービス事業

障害福祉サービス事業（11,509,531円）

▽障がい者（児）へのホームヘルプサービス

- ①居宅介護事業 障がい者の居宅において、身体介護や家事援助、生活上の相談を行うほか、通院時に必要な介助を行う。
- ②重度訪問介護事業 重度の肢体不自由者で、常時介護を必要とする人の身体介護や家事援助、移動の介護、見守り等生活全般を支援する。
- ③同行援護事業 視覚障がい者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行う。

(1) 主な収支状況

居宅介護給付費収入	7,672,730円（収）
重度訪問介護給付費収入	278,315円（収）
同行援護給付費収入	3,678,827円（収）
利用者負担金	201,116円（収）
ヘルパー人件費	7,192,540円（支）
事務所使用料	318,965円（支）
障害福祉システム利用料	132,000円（支）
その他事業所運営にかかる事業費・事務費	216,026円（支）
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	3,650,000円（支）

(2) サービス提供状況

	活動者数	利用者数	身体介護 (時間)	家事援助 (時間)	通院介護 (時間)		重度訪問 介護 (時間)	同行援護 (時間) ※介護を 伴わない
					※介護を 伴わない	※介護を 伴う		
4月	22	28	0	294	13.5	3	9	98.5
5月	23	28	0	312.5	1.5	0	14	94
6月	25	30	0	301	8.5	2.5	10	108
7月	22	30	0	289	7	2.5	10	96.5
8月	23	28	0	296	7	0	8	80.5
9月	24	30	0	289.5	5.5	5	8	79.5
10月	24	28	0	279.5	6.5	6	12	102
11月	23	27	0	280.5	7	0	11	107.5

12月	23	27	0	272	5	0	8	115.5
1月	21	28	0	263	5	3.5	8	94.5
2月	23	28	0	275	0	3	8	88.5
3月	23	28	1	281	7	2	11	110
合計	276	340	1	3,433	73.5	27.5	117	1,175

移動支援事業

移動支援事業（1,238,597円）

▽移動支援事業の受託

障がい者（児）が安心して社会活動に参加できるよう移動支援サービスを提供する。

（1）主な収支状況

市受託金	1,246,995円〈収〉
利用者負担金	22,905円〈収〉
ヘルパー人件費	684,936円〈支〉
障がい者（児）の外出援助のための事業費・事務費	253,661円〈支〉
地域福祉推進事業（法人運営事業）に繰出	300,000円〈支〉

（2）サービス提供状況

	活動者数	利用者数	移動支援単独保障型 (時間)	移動支援単独補助型 (時間)	移動支援単独介護型 (時間)
4月	7	6	30	7.5	10.5
5月	7	6	28	8	10.5
6月	8	8	32.5	8	12
7月	7	7	31	6	10
8月	5	5	25	7	10
9月	6	6	24.5	6	12
10月	6	7	29.5	7.5	10.5
11月	6	7	29	8	11
12月	6	6	26.5	8	11
1月	6	6	24	7.5	11
2月	5	6	24	8	11
3月	6	5	22	8	12
合計	75	75	326	89.5	131.5

包括的支援事業

包括的支援事業（91,465,234円）

▽地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。

▽地域包括支援センターに保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等を配置し、それぞれが連携を図ることにより、地域で暮らす高齢者の介護・福祉・健康・医療など様々な悩み・疑問・相談ごとに総合的に対応する。

（1）主な収支状況

市受託金	91,465,234円〈収〉
一般職員、嘱託職員、臨時職員人件費	47,856,805円〈支〉

かしはら街の介護相談室委託費	38,400,000円〈支〉
地域包括支援センターシステム保守料等	1,097,250円〈支〉
事務所使用料	1,435,342円〈支〉
広報・啓発費用	359,782円〈支〉
弁護士法律相談費用	104,900円〈支〉
その他地域包括支援センター運営にかかる事務費・事業費	2,211,155円〈支〉

(2) 総合相談・支援事業

▽高齢者やその家族等から様々な相談を受け、高齢者などが抱える生活課題を的確に把握し、保健・医療・福祉の各種サービスが受けられるように支援する。

相談状況

区 分	件数
介護保険	1,668
認知症	1,106
虐待	255
病気	35
医療	97
家族	38
権利擁護	90
生活資金	9
介護予防	3
日常生活	180
ケアマネ支援	29
その他	48
合 計	3,558

※認知症の件数には、後述の認知症地域支援推進員と認知症初期集中支援チームの相談件数を含む。

(3) 権利擁護事業

▽高齢者の虐待防止、早期発見、早期対応などを行うとともに、成年後見制度等の利用促進を支援する。

相談状況

	虐待	権利擁護	合計
延対応件数	255	90	345
実人数	35	31	66

※延対応件数は、前述の総合相談・支援事業の相談状況の件数を再掲

▽支援困難事案の情報を共有し解決に向けた検討や、高齢者虐待事案に対する判定を目的に会議を開催する。

困難ケース検討会・高齢者虐待判定会議実施状況

名 称	回数
困難ケース検討会・高齢者虐待判定会議	12
高齢者虐待判定会議	1

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

▽利用者がどのような状況にあっても、住み慣れた地域で暮らすことができるよう関係機関と連携し、継続的に支援できるよう努める。また、地域のケアマネジャーが抱える困難事例等の相談に応じ、より質の高いケアマネジメントができるようケアマネジャー同士のネットワークづくりを支援する。

▽居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にハイブリッド形式で研修会を実施する。

ケアマネジャー支援研修会実施状況

開催日	内 容	参加者数
9月19日	内容 リハビリの視点から大腿骨頸部骨折のある方の生活機能改善のためのアセスメントを学ぶ 講師 ソフィアメディ訪問看護ステーション 理学療法士 津田和貴 氏	58
10月16日	内容 「支援経過記録～状況・状態・リスク表記～」 ～6W1H1Rでサラサラ書ける～ 講師 ケアタウン総合研究所 代表 高室成幸 氏	73
2月29日	内容 高齢者虐待について 講師 法律事務所リメス 弁護士 東海伸晃 氏	66
合 計		197

(5) かしはら街の介護相談室との連携

▽社会福祉法人や医療法人の協力を得て設置しているかしはら街の介護相談室との連携を図り、地域における高齢者の総合相談窓口として、より一層の充実を目指す。

かしはら街の介護相談室

小学校区	事業者名	小学校区	事業者名
耳成	榎原の郷	白榎南	桃寿園
耳成南	バンデ（絆）	白榎北	ぼれぼれケアセンター白榎
晩成	あすならホーム畝傍	今井	ぼれぼれ八木西スクエア
鴨公	大和三山	真菅	ぼれぼれ八木西スクエア
香久山	香久山インパレス	真菅北	榎原の郷
畝傍東	大和三山	耳成西	榎原の郷
畝傍南	榎原園	金橋	かなはし苑
畝傍北	あすならホーム畝傍	新沢	西井クリニック

▽地域包括ケアシステムの実現を目指し、研修会の開催や情報の共有などの連携を図るため、ランチ連絡会を開催する。

ランチ連絡会実施状況

開催日	内 容	参加者数
4月18日	令和5年度の業務について 他	31
9月19日	意見交換「生活支援地域ケア会議の進め方について」 他	23
11月21日	認知症地域支援推進員による勉強会 他	22
3月19日	生活支援コーディネーターについての意見交換 他	28
合 計		104

▽かしはら街の介護相談室事業評価に係る調査の実施

対象 かしはら街の介護相談室を受託する10法人

期間 2月15日～2月29日

(6) 地域ケア会議

▽医療機関や介護サービス事業者などの関係者が連携を図り、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を目的に、中学校区域で開催される「多職種交流勉強会」に参加する。

校区レベル地域ケア会議等実施状況

名 称	回数
多職種交流勉強会	8

▽ケアマネジャーや地域住民等から報告される個別の支援困難事案の解決に向けた検討や、地域の支援体制の構築のため、「個別レベル地域ケア会議」を開催（参加）する。

▽専門職等がケアマネジメントのプロセスに関与し、多職種において課題及び背景・原因の分析をより深め、要支援者等の自立支援の検討のため、市全域で「自立支援地域ケア会議」を開催する。

個別レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数
個別レベル地域ケア会議	17
自立支援地域ケア会議	4

認知症総合支援事業（7,947,723円）

▽地域包括支援センターに認知症地域支援推進員（認知症の専門相談員）を配置し、認知症疾患医療センターやかかりつけ医と連携することで、医療と介護の切れ目のないサービスを提供するとともに、地域ケアに対する専門的な支援を行う。

(1) 主な収支状況

市受託金	7,947,723円（収）
一般職員、嘱託職員人件費	6,997,054円（支）
地域包括支援センターシステム保守料等	77,489円（支）
事務所使用料	159,483円（支）
広報・啓発費用	179,891円（支）
弁護士法律相談費用	104,900円（支）
その他認知症関係事業費	428,906円（支）

(2) 認知症地域支援推進員の配置

▽認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族を支援するための相談対応を行う。また、認知症疾患医療センターやかかりつけ医、かしはら街の介護相談室などの関係機関と連携し、専門医の受診や介護サービスの利用などにつなぐ支援を行う。

相談件数 1,000件（実人数116名）

(3) 認知症初期集中支援チームの設置

▽認知症の早期診断・早期対応を促進するため、複数の専門職で構成する認知症初期集中支援チームを設置し、専門医を含むチーム員会議において支援方針を検討する。

相談件数 48件（実人数2名）

認知症初期集中支援チーム員会議実施状況

名 称	回数	検討件数
認知症初期集中支援チーム員会議	2	3

(4) オレンジカフェの開催

▽認知症の人やその家族が集まって、悩みを話したり、介護の情報を得たりする交流の場として「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を開催する。

日時 第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分

場所 保健センター南館3階 講座室1

オレンジカフェ開催状況

名 称	回数	延参加者数
オレンジカフェ（認知症カフェ）	12	128

生活支援体制整備事業（1,559,000円）

▽高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進と、提供体制の構築に向け、生活支援コーディネーターを配置する。

▽かしはら街の介護相談室との連携を図り、高齢者にとって日常生活に役立つ社会資源に関する情報を調査し、冊子として作成・更新する。

- ・買い物支援サービス実施店
- ・高齢者の地域の居場所
- ・訪問理美容店舗

▽かしはら街の介護相談室の協力を得て、各町の地域特性などの情報を収集し、現状や課題を分析するための「町ごとのアセスメントシート」を作成・更新する。

▽かしはら街の介護相談室の生活支援コーディネーターとの連携を図り、小学校区の現状や課題を地域住民と共有するとともに、解決に向けた検討のため、小学校区域で開催される「生活支援地域ケア会議」に参加する。

校区レベル地域ケア会議実施状況

名 称	回数	延参加者数
生活支援地域ケア会議	17	309

(1) 主な収支状況

市受託金	1,559,000円〈収〉
人件費	1,450,546円〈支〉
広報・啓発費用	59,964円〈支〉
生活支援サービスの体制づくりのための事業費	48,490円〈支〉

介護予防支援事業

介護予防支援事業（8,987,538円）

▽第一号介護予防支援

要支援者や近い将来要支援・要介護状態となるおそれのある高齢者が、介護予防及び生活支援を目的に、心身の状況等に応じて適切な事業が提供されるよう、介護予防ケアマネジメントを作成す

るとともに、その計画に基づくサービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。

▽指定介護予防支援

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス・支援計画を作成するとともに、その計画に基づく介護予防サービスの提供が確保されるよう、関係機関との連絡調整などを行う。また、公正中立なケアマネジメントの確保や平時から医療機関との連携に努める。

(1) 主な収支状況

介護保険収入	5,020,700円 (収)
総合事業収入	3,499,573円 (収)
一般職員、嘱託職員、臨時職員人件費	7,486,154円 (支)
介護予防支援システム保守料等	232,469円 (支)
事務所使用料	159,483円 (支)
固定資産取得費 (複合機)	442,200円 (支)
その他事業所運営にかかる事務費・事業費	667,232円 (支)

(2) 実施状況

委託契約事業所件数 67件 (令和6年3月31日現在)

介護予防ケアマネジメントA作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	15	15	25	607	632	647
5月	0	12	12	38	634	672	684
6月	0	10	10	34	629	663	673
7月	0	11	11	23	652	675	686
8月	0	11	11	42	649	691	702
9月	0	10	10	27	669	696	706
10月	1	11	12	29	677	706	718
11月	0	11	11	39	689	728	739
12月	0	12	12	23	696	719	731
1月	0	10	10	27	671	698	708
2月	0	10	10	28	679	707	717
3月	1	15	16	34	671	705	721
合計	2	138	140	369	7,923	8,292	8,432

介護予防ケアマネジメントB作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	12	12	1	18	19	31
5月	0	12	12	0	18	18	30
6月	0	11	11	1	18	19	30
7月	1	10	11	2	19	21	32
8月	0	12	12	1	21	22	34
9月	0	12	12	0	21	21	33
10月	0	11	11	0	20	20	31

11月	0	11	11	1	19	20	31
12月	0	11	11	0	19	19	30
1月	0	11	11	0	17	17	28
2月	0	11	11	1	18	19	30
3月	0	11	11	1	18	19	30
合計	1	135	136	8	226	234	370

介護予防サービス・支援計画作成給付管理実施状況

	地域包括支援センター			委託事業所			合計
	新規	継続	計	新規	継続	計	
4月	0	38	38	37	1,035	1,072	1,110
5月	1	26	27	24	1,051	1,075	1,102
6月	1	21	22	34	1,088	1,122	1,144
7月	0	21	21	27	1,089	1,116	1,137
8月	0	21	21	41	1,070	1,111	1,132
9月	0	17	17	27	1,082	1,109	1,126
10月	0	19	19	21	1,098	1,119	1,138
11月	0	18	18	37	1,088	1,125	1,143
12月	0	17	17	32	1,120	1,152	1,169
1月	0	19	19	19	1,109	1,128	1,147
2月	0	18	18	39	1,127	1,166	1,184
3月	0	23	23	33	1,125	1,158	1,181
合計	2	258	260	371	13,082	13,453	13,713

(注釈)

サービス区分名

事業名 (決算額)

決算額には、拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))における当該事業の事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支のそれぞれの支出額の内部取引消去前の合計額を記載

〈収〉は収入

〈支〉は支出